

## 取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組15	公民学連携まちづくりセンター・ネットワークの構築と柏の葉モデルの世界展開
②対応する目標・課題	創業育成・都市経営	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:まちづくりセンター・ネットワークに参加する国内・海外の機関の数	■目標値:3機関(平成23年9月) ⇒ 15機関(平成28年度9月)
	■評価指標:海外から柏の葉への視察団体数	■目標値:11団体(平成22年度) ⇒ 30団体(平成28年度)
④取組内容	<p>柏の葉キャンパスで実践する「公民学連携によるまちづくりモデル」の構築・強化と他地域への展開を目的として、まちづくりセンター間のネットワークを構築する。具体的には、人材研修プログラムの整備、他都市のまちづくりセンターとの人事交流の枠組みの構築などを、柏の葉アーバンデザインセンターが中心となり、他のセンターと共同で行う。さらに、研修プログラム等を通じて、新たなまちづくりセンターの設立を支援し、ネットワークの拡大を図る。</p> <p>また、柏の葉における環境未来都市モデル構築に向けた実践と並行して、インターネットを活用したまちづくり情報の戦略的な発信(戦略的コミュニケーション)を行い、柏の葉モデルをパッケージ化して世界に展開する。</p>	
⑤エリア	柏の葉キャンパスエリアを中心に柏市全域の活動を全国・世界に向けて発信する	
⑥主体	<p>柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)(統括)</p> <p>※既存のネットワーク機関として、田村地域づくりデザインセンター(福島県田村市)、郡山アーバンデザインセンター(福島県郡山市)、横浜アーバンデザイン研究機構(神奈川県横浜市)</p>	
⑦活用した国等の制度	23年度内閣府 環境未来都市 補助金(デジタルサイネージの設置)	
⑧地域の関与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域組織(UDCK)への人員派遣、拠点施設の管理支援(柏市まちづくり公社による)</li> <li>・まちづくり構想推進のための継続的な費用負担(柏市、東大、千葉大の共同負担)</li> <li>・柏市オフィシャルウェブサイト内における「柏の葉キャンパス」紹介サイトの開設</li> </ul>	
⑨スケジュール		
23年度	既にネットワークを有するまちづくり機関が集う「アーバンデザインセンター会議」を開催(11月)	
24年度	センターネットワーク構築に係る検討・規約等の整備 他都市のセンターの設立支援 戦略的コミュニケーションの検討	
25年度	ネットワークを活かした情報連携・人材交流等 新たなセンターの設立支援 ネットワークの拡大	
26年度	同上	
27年度	同上(環境未来都市の成果を踏まえ、公民学連携のまちづくりシステムとして全国、世界に展開)	
28年度	同上	
29年度以降	同上(一定のネットワークが確立後、自立運営体制を構築)	
⑩他の取組との連携	全ての取り組みが「公民学連携による自立都市経営」の成果となるため、これを全国・世界に展開するためのノウハウ提供や人材交流の重要な基盤として、当該ネットワークを構築する。	
⑪自立・自律の方針・目標	<p>各分野の技術や知見だけでなく、その根底にある「公民学連携のまちづくりの体制やシステム」も含めた展開が、環境未来都市の成果の普及において重要であり、そのためには、人材交流を含めた都市間連携の強化が必要である。将来的には、全国・世界の多くの都市において、公民学連携のまちづくりセンターを核とした自律的な都市経営が行われ、そのセンター同士で緊密な情報共有や各分野の専門的人材・企業の交流が自律的に行われるようなネットワーク形成を目指す。</p> <p>上述のとおり、今後5年間の目標は、最低15のセンターネットワークの構築であり、既に複数の都市から設立検討の意向を受けているところである。</p> <p>そのために、今後5年間、国の支援を仰ぎながら、UDCKが中心となって、情報発信や新たなセンターの設立支援活動を強化するとともに、合同会議の開催や人材研修プログラムの開発、ネットワーク運営体制の検討・構築を行う。これらを通じて、連携するセンターの拡大を図るとともに、各センターの負担による自律的なネットワーク運営体制を構築する。</p>	